

令和4年第1回羽村・瑞穂地区学校給食組合

教育委員会（定例会）会議録

日 時 令和4年1月28日(金)午前10時00分～午前10時31分

場 所 羽村・瑞穂地区第2学校給食センター会議室

出席者の氏名 5名

教育長 桜沢 修、教育長職務代理者 鳥海 俊身、委員 塩田 真紀子、
委員 永井 英義、委員 村上 豊子

欠席者 なし

傍聴者 なし

出席した職員の職・氏名

事務局長 石田 哲也、給食課長 友野 裕之、管理給食係長 瀧島 淳介

組織市町教育委員会の出席者の職・氏名

羽村市教育委員会生涯学習部参事 佐藤 晴美

羽村市教育委員会生涯学習部教育課長 西尾 洋介

瑞穂町教育委員会教育部学校教育課長 大澤 達哉

議事日程

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 議案第1号 令和4年度羽村・瑞穂地区学校給食組合予算要求の
うち教育費に係る部分の意見聴取について

日程第3 報告事項 令和4年度給食計画及び羽村・瑞穂地区学校給食費
会計予算について

会議経過

○教育長 皆様、おはようございます。

ただいまの出席者は、5名であります。

定足数に達しておりますので、これより令和4年第1回羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会（定例会）を開会します。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりです。

〔日程第1〕

○教育長 会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、「羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会会議規則」第27条第2項の規定によりまして、教育長において、鳥海俊身委員を指名します。

よろしく申し上げます。

〔日程第2〕

○教育長 議案第1号、令和4年度羽村・瑞穂地区学校給食組合予算要求のうち教育費に係る部分の意見聴取についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

○事務局長 教育長。事務局長です。

○教育長 事務局長。

○事務局長 議案第1号、令和4年度羽村・瑞穂地区学校給食組合予算要求のうち教育費に係る部分の意見聴取についてをご説明いたします。

本案は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第29条の規定により、令和4年度羽村・瑞穂地区学校給食組合予算要求のうち教育費に係る部分について教育委員会の意見を聴取する必要があるため、その内容を説明し、意見を求めるものでございます。

詳細につきましては、給食課長よりご説明いたします。

よろしくご審議の上、ご承認くださいますようお願いいたします。

○給食課長 教育長。給食課長です。

○教育長 給食課長。

○給食課長 議案第 1 号、令和 4 年度羽村・瑞穂地区学校給食組合予算要求のうち教育費に係る部分の意見聴取についての詳細をご説明いたします。

なお、教育費に係る部分の意見聴取ではございますが、歳入につきましては主要財源である分賦金を、歳出につきましては教育費と、事務所費のうちポスターコンクールに係る予算を説明させていただきます。

それでは、お手元に配付いたしました、議案第 1 号を 1 枚おめくりいただきまして、別紙「令和 4 年度羽村・瑞穂地区学校給食組合当初予算（案）概要」の 1 頁をご覧ください。

はじめに教育費を含めた羽村・瑞穂地区学校給食組合予算全体の概要をご説明いたします。

本年度の一般会計予算総額でございますが、歳入歳出それぞれ 385,015,000 円で、前年度の当初予算額 388,639,000 円と比較して、3,624,000 円の減額となっております。

教育費の予算総額は 286,204,000 円となっており、資料に記載はございませんが、一般会計総額に占める割合は 74.3%、前年度の当初予算額 282,184,000 円と比較して、4,020,000 円の増額となっており、増加率は 1.42%となっております。

増減の内訳は、第 1 項「教育総務費」第 1 目「教育委員会費」が 208,000 円で、前年度比 49,000 円の増、第 2 項「保健体育費」第 1 目「学校給食費」が、285,496,000 円で、前年度比 15,297,000 円の増、同項第 2 目「施設整備費」が、500,000 円で、前年度比 11,326,000 円の減となっております。

2 頁をご覧ください。

ここから歳入の分賦金と、歳出の教育費に係る主要な部分の説明をさせていただきます。

初めに、歳入です。

第 1 款「分賦金」は、334,851,000 円で、前年度の当初予算額 338,307,000 円と比較して、3,456,000 円の減額でございます。

表の右側、説明欄をご覧ください。

羽村市及び瑞穂町それぞれの分賦金の割合については、例年 4 月 1 現在の在籍児童・生徒数の推計をもって算定しております。

令和 4 年度は、羽村市の児童・生徒数の計が 4,052 人、瑞穂町の児童・生徒数の計が 2,214 人、合計 6,266 人で、前年度比 123 人の減でございます。

分賦金の構成比は、羽村市が 64.67% で 216,548,000 円、瑞穂町が 35.33% で 118,303,000 円でございます。

続きまして、3 頁をご覧ください。

次に歳出です。

第 2 款「事務所費」は、ポスターコンクールに係る経費を説明いたします。
説明欄をご覧ください。

第 7 節「報償費」で、審査員謝礼を 18,000 円、入賞者賞品を 25,000 円、第 10 節「需用費」で、食育啓発ポスターの印刷製本費を 50,000 円、第 12 節「委託料」で、配送車用 PR シール作成・設置に関する委託料を 157,000 円計上いたしました。

前年度比 404,000 円の減の主な理由は、前年度が 5 年に 1 度の給食配送委託の更新年度にあたったため、業者変更があった場合を想定した配送車 6 台分の PR シールの張替予算を計上していたためです。

続きまして、第 3 款「教育費」です。

第 1 項「教育総務費」第 1 目「教育委員会費」からご説明いたします。

説明欄をご覧ください。

前年度比 49,000 円の増の主な理由は、会議録作成委託の見直しにより第 12 節「委託料」の増額によるものです。

次に、第 2 項「保健体育費」第 1 目「学校給食費」をご説明いたします。

第 1 節「報酬」につきましては、運営審議会委員報酬は前年度同額ですが、会計年度任用職員報酬を 40,863,000 円計上したことにより、前年度比で 4,662,000 円の増となっています。

増額の主な理由は、今まで施設が 2 か所に分かれている関係で、加配されていた栄養士 1 名が配置されなくなったことにより、組合独自に 1 名採用を予定していることなどによります。

次に、第 2 節「給料」は、調理に従事する職員の給料 13 名分です。

前年度比 2,144,000 円減の主な理由は、職員 1 名が定年退職により再任用職員となるためです。

第 3 節「職員手当等」は、令和 4 年度末で定年退職予定の職員がいないため退職手当組合負担金の特別負担金が発生しないことや職員 1 名が定年退職により再任用職員となることなどにより、前年度比 7,265,000 円の減となっています。

4 頁をご覧ください。

第 4 節「共済費」は、「給料」及び「職員手当等」の減額に伴い、前年度比 1,299,000 円の減となっております。

第 5 節「災害補償費」及び第 8 節「旅費」につきましては、前年度同額となっております。

第 10 節「需用費」は、燃料費を予算積算時の実勢価格にしたことに加え、老朽化した調理器具の買替えや施設備品等の修繕を見込み、前年度比 5,669,000 円の増としました。

第 11 節「役務費」は、検査手数料等の単価上昇により前年度比 33,000 円の増となっております。

第 12 節「委託料」は、予算積算用に参考見積を徴取した結果、給食配送業務委託などの金額の見直しに伴い前年度比 3,380,000 円の減となっております。

続きまして、5 頁をご覧ください。

第 13 節「使用料及び賃借料」は、前年度同額となっております。

第 17 節「備品購入費」は、老朽化した備品、第 1 センターでは、揚げ物機 1 台、蒸気回転釜 1 台などを、第 2 センターでは、フードスライサー 1 台、段付二重食缶 75 個などの買替え費用を計上したもので、前年度比 19,021,000 円の増となっております。

第 18 節「負担金、補助及び交付金」は、前年度同額となっております。

次に、第 2 項「保健体育費」第 2 目「施設整備費」についてご説明いたします。

前年度比 11,326,000 円の減の主な理由は、令和 4 年度は工事の予定がなく、第 14 節「工事請負費」が緊急工事費 500,000 円のみ予算計上となったためです。

以上で、令和 4 年度羽村・瑞穂地区学校給食組合予算要求のうち教育費に係る部分の意見聴取についての詳細説明とさせていただきます。

○教育長 以上で提案理由の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

質疑がありましたら、お願いいたします。

(質疑なし)

○教育長 特に質疑ないようですので、質疑を終了いたします。

お諮りします。

議案第1号、令和4年度羽村・瑞穂地区学校給食組合予算要求のうち教育費に係る部分の意見聴取について原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 ご異議なしと認め、よって本案は原案のとおり承認することに決定いたしました。

〔日程第3〕

○教育長 報告事項、令和4年度給食計画及び羽村・瑞穂地区学校給食費会計予算について事務局からの説明を求めます。

○給食課長 教育長。給食課長です。

○教育長 給食課長、着座のままで。

○給食課長 それでは、着座のままでご説明させていただきます。

令和4年度給食計画及び羽村・瑞穂地区学校給食費会計予算についてご報告させていただきます。

はじめに「令和4年度給食計画」についてご説明いたします。

報告事項資料1「令和4年度給食計画」をご覧ください。

「1 給食基準日数及び給食費」ですが、表の中ほど基準日数は、小学校が185日、中学校が180日です。

給食費の月額など金額については、それぞれ記載のとおりとなります。

小学校は、低学年・中学年・高学年の区分で金額が異なる設定となっております。

基準日数を超えた場合、又は満たない場合は、日割算定額に超えた日数、又は満たない日数を乗じた金額を3月分で調整いたします。

試食代金は、表の下、※に記載されておりますが、小学校が250円、中学校が290円となります。

次に「2 給食センター稼働日及び稼働日数」については、令和4年4月11日

(月)から令和5年3月23日(木)までの間で、200日を予定しております。

前年度と比較して、8日の減となっております。

次に一番下になりますが、「3米飯給食予定日数」は、小学校、中学校とも年間140日を予定しております。

前年度と比較して6日の減となっております。

次の頁に、年間の給食予定表、A4横の印刷になりますが、がございます。

表の中で、○の部分が稼働日となります。

内容については、後ほどご覧くださればと思います。

以上で、「令和4年度給食計画」についての説明を終了いたします。

続きまして、「令和4年度羽村・瑞穂地区学校給食費会計予算」につきまして、ご説明いたします。

報告事項資料2「羽村・瑞穂地区学校給食費会計予算書」の1頁をご覧ください。

令和4年度 羽村・瑞穂地区学校給食費会計予算は、次に定めるところによります。

(収入支出予算)

第1条 収入支出予算の総額は、収入支出それぞれ327,915,000円と定めます。

2 収入支出予算の科目区分ごとの金額は、「第1表収入支出予算」によります。

それでは、2頁をご覧ください。

こちらは、「第1表収入支出予算」を記載しております。

金額と内容につきましては、4頁以降の収入支出予算事項別明細書でご説明いたしますので、4頁をご覧ください。

初めに、収入です。

科目1「小学校給食費」は、本年度予算額203,701,000円、前年度予算額208,921,000円、前年度比較で5,220,000円の減額でございます。

羽村市・瑞穂町の児童数減少による減額でございます。

参考といたしまして、本日机上にA4横のカラーで印刷したグラフをお配りしております。

そちらをご覧ください。

上段のグラフが、令和4年度と令和3年度の羽村市・瑞穂町の12の小学校の各学年の児童総数及び教職員数の推移となっております。

右側は令和3年度のグラフで、緑色の部分は令和3年度の6年生757人となっており、令和4年3月に卒業する人数となっております。

左側は令和4年度のグラフで、濃い青色の部分は令和4年4月に入学予定の新1年生の人数となっております。

双方のグラフを対比しますと、令和3年度に757人卒業するのに対し、令和4年度の入学は673人、84人の減となっております。

その他の学年でも多少の人数の減少が見られますので、結果全体では117人の減となり、令和4年度の小学校給食費に反映されております。

予算書4頁にお戻りください。

本年度予算の内訳は、「1 現年度給食費」が、202,801,000円、「2 過年度給食費」が、900,000円でございます。

説明の欄をご覧ください。

現年度給食費として、羽村市は、児童2,658人、118,329,000円、内訳として、低学年・中学年・高学年の人数・金額は、記載のとおりです。

教職員217人、10,049,000円、計で2,875人、128,378,000円でございます。

瑞穂町は、児童1,478人、65,733,000円、内訳として、低学年・中学年・高学年の人数・金額は、記載のとおりです。

教職員153人、7,085,000円、計で1,631人、72,818,000円でございます。

給食センター職員は、32人、1,482,000円、小学校試食代は、493食、123,000円を予定しております。

「2 過年度給食費」900,000円につきましては、収納実績を加味し、前年度同額とさせていただきます。

5頁をご覧ください。

科目2「中学校給食費」は、本年度予算額122,610,000円、前年度予算額122,716,000円、前年度比較で106,000円の減額でございます。

羽村市・瑞穂町の生徒数の減少による減額です。

お手数ですが、今一度参考資料のグラフをご覧ください。

下段のグラフが令和4年度と令和3年度の羽村市・瑞穂町の5つの中学校の各学年の生徒総数及び教職員数の推移となります。

右側は令和3年度のグラフで、灰色の部分は令和3年度の3年生717人となっており、令和4年3月に卒業する人数となっております。

左側は令和4年度のグラフで、青色の部分は令和4年4月に入学する予定の新1年生、令和3年度の小学6年生になりますが、こちらの人数となっております。

双方のグラフを対比しますと、令和3年度に717人卒業するのに対し、令和4年度の入学は703人と14人の減となっております。

その他の学年と、紺色の棒のグラフになりますが、教職員の人数の増加が見られますので、結果全体では2人の減となり、令和4年度の中学校給食費に反映されております。

それでは、予算書の5頁にお戻りください。

本年度予算の内訳は、「1 現年度給食費」が、121,410,000円、「2 過年度給食費」が、1,200,000円でございます。

説明の欄をご覧ください。

現年度給食費として、羽村市は、生徒1,394人、72,837,000円、教職員109人、5,695,000円、計で1,503人、78,532,000円でございます。

瑞穂町は、生徒736人、38,456,000円、教職員73人、3,814,000円、計で809人、42,270,000円でございます。

給食センター職員は、11人、575,000円、中学校試食代は、114食、33,000円でございます。

「2 過年度給食費」1,200,000円につきましては、収納実績を加味し、前年度同額とさせていただきます。

科目3「繰越金」は、本年度予算額1,500,000円、前年度予算額1,500,000円、前年度比較で同額でございます。

科目4「諸収入」は、本年度予算額104,000円、前年度予算額118,000円、前年度比較で14,000円の減額でございます。

収入合計は、本年度予算額327,915,000円、前年度予算額333,255,000円、前年度比較で、5,340,000円の減額でございます。

続きまして、6頁をご覧ください。

次に、支出でございます。

科目1「小学校原材料費」は、本年度予算額203,701,000円、前年度予算額208,921,000円、前年度比較で5,220,000円の減額でございます。

科目 2「中学校原材料費」は、本年度予算額 122,610,000 円、前年度予算額 122,716,000 円、前年度比較で 106,000 円の減額でございます。

いずれも学校給食用のお米、パン、牛乳、副食等の原材料を購入する費用でございます。

科目 3「還付金」は、本年度予算額 530,000 円、前年度予算額 530,000 円、前年度比較同額で、主に牛乳アレルギー等により牛乳等を飲用できない児童・生徒等に対する牛乳代金の還付でございます。

科目 4「予備費」は、本年度予算額 1,074,000 円、前年度予算額 1,088,000 円、前年度比較で 14,000 円の減額でございます。

支出合計は、本年度予算額 327,915,000 円、前年度予算額 333,255,000 円、前年度比較で 5,340,000 円の減額でございます。

以上で、令和 4 年度羽村・瑞穂地区学校給食費会計予算についての説明とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

○**教育長** 以上で、令和 4 年度給食計画及び羽村・瑞穂地区学校給食費会計予算についての報告が終わりました。

この際報告ではありますけれども、なにかご質問ありますか。

○**鳥海教育長職務代理者** 質問ではないのですが、事前に資料を見させていただいた中で、小学校と中学校の原材料費に相当差があると、子どもの数の問題であろうということなのですが、なかなか。

例えば、羽村市さんでも自分のところの小学生、中学生の数の増減とか単体ですぐに調べがつかますけれども、それは町でもわかりますけれども、ところが両方が混ざった数値、作ればすぐに作れるわけですがけれども、今までなかなかそういうものを目にしてない中で、このような資料を作っていたことによって、確かに小学校のほうが相当少なくなっているんだというのが、現実の数字でわかるようになって、大変良い参考資料を作っていたなというふうに思います。

以上です。

○**教育長** 特にこれについての答弁はよろしいですか。

○鳥海教育長職務代理者 答弁ということではなく、この資料がなければ、小学校費と中学校費とこれだけの差が出ているのを数字かなにかで示してもらえませんかという話になるのかと思うのですが、これを見れば一目瞭然で、かける給食の単価と個数なわけですから納得です。

○教育長 ありがとうございます。

○永井委員 教育長。

○教育長 永井委員。

○永井委員 質問です。

今示していただいた推移、これは令和4年までなのですが、令和3年から4年の段階で約530万の収入が減るわけですよ、117人で。

このペースでいくと、毎年117人減ったとしたら、10年後には5,000万円減るわけですよ。

5,000万円となると3億のなかで相当大きいですよ。

収入が減っていくことによって、当然仕入れの量も減るでしょうし、そういう先々の予測をどのように考えていますか。

○事務局長 教育長。

○教育長 事務局長。

○事務局長 収入の人数につきましては、人口推計に基づいて羽村市も瑞穂町も児童・生徒数を出していますので、そのかたちを利用して将来推計を作っていくことも可能だと考えています。

また、原材料費の高騰につきましては、今年に入ってから油の値段が上がってきたりだとか、そういうかたちのものも来ておりますので、それも見据えて、前回給食費の値上げをしたのが、平成28年、11年間も据え置きだったわけで、それを28年の時に、中学校については1つですけれども、小学校は低学年・中学年、・高学年の3つの区分に分けたりして、より実勢に合わせるかたちをとりましたので、今後も児童・生徒数の減少と併せて、それを見据えて、単価の改定を行っていくなどをしなければ、このままですとずっと減っていってしまいますので、何年に改定するかはわかりませんが、改定をして栄養価を維持していく必要があると考えています。

以上です。

○永井委員 教育長。

○教育長 永井委員。

○永井委員 ありがとうございます。

同時に、仕入れの数量が減ってしまうのであれば、給食に食材を供給したくないであるとか、廃業するであるとか、今は産業もどんどん衰退してきているので、あり得るのではないかと。

その点も見据えながら、慎重に、計画を立てていただければと思います。

以上です。

○教育長 ほかにございますか。

○鳥海教育長職務代理者 今の点に関してなんですけれども。

○教育長 鳥海委員。

○鳥海教育長職務代理者 まだこの数字、全体で3,000食、もつとですよ。

ある中では、食材購入に対してスケールメリットがまだまだあるものだと思います。

ですので、そのやりかたぐらいのところでスケールメリットが損なわれることはないでしょうが、これですと先々のことに関して言えば、瑞穂と羽村が離れてしまうというようなことは全く得策ではないというように思います。

そうなってきたときに、今度はそういうところでスケールメリットが発揮できなくなってしまうのではないですかね。

○教育長 長期的な見通し等についてのご意見を頂きました。

今後事務局の中でそれらについても考えていただきたいと思いますので、よろしくお願いをしたいと思います。

ほかにございますか。

もしないようでしたら、これをもちまして令和4年第1回羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会（定例会）を閉会いたします。

大変ご苦労さまでした。

以上、会議の経過（概要）を記載し、その相違のないことを証するために、ここに署名いたします。

令和4年1月28日

羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会
教 育 長

羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会
委 員